令和 3年度　　事務事業評価表（　令和 2年度　の実績評価）

記入年月日						
令和	3	年	4	月	20	日

事務事業名	疾病予防対策事業	事業区分		担当	
		新規/継続	継続	事務事業№	010603001074
政策体系上の位置付け		単独/補助	補助	所属課	040501 高齢福祉課
政策体系 総合計画の施策名	0106 高齢者福祉の推進				
政策体系 政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり			課長名	
政策体系 施策名	06 高齢者福祉の推進			グループ	高齢福祉グループ
政策体系 手段名	03 ③総合相談の充実と地域医療と介護の連携推進			担当者名	

財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	事業	細	
予算科目	01	03	01	02	03	00	一般会計 高齢者疾病予防対策事業

事　業　期　間
期間限定複数年　（ 令和 2 年度～ 令和 3 年度）
期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入

法令根拠　桜川市疾病予防対策事業実施要綱

【Do】　1．事務事業の現状把握（その1）

（1）事務事業の概要

手段 ①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
６５歳以上の高齢者又は基礎疾患をある者で、新型コロナウイルス感染症検査を希望する者に対し、検査費用の一部を助成することにより、感染による重症化及び死亡リスクの軽減を図ることを目的とし実施する。	・検査事業所と委託契約 ・お知らせ版等で周知 ・申請受付、自己負担金の徴収 ・検査結果通知書の発送

（2）事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	01年度（実績）	02年度（実績）	03年度（計画）	04年度（目標）	05年度（目標）
・検査事業所と委託契約 ・お知らせ版等で周知 ・申請受付、自己負担金の徴収 ・検査結果通知書の発送	検査回数	回	0.00	35.00	200.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	01年度（実績）	02年度（実績）	03年度（計画）	04年度（目標）	05年度（目標）
65歳以上の高齢者又は基礎疾患をある者で、新型コロナウイルス感染症検査を希望する者	65歳以上の高齢者又は基礎疾患のある者	人	0.00	13,556.00	13,504.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度（実績）	02年度（実績）	03年度（計画）	04年度（目標）	05年度（目標）
無症状者に対する検査は、感染拡大を防止する観点から有効であり、積極的に実施し高齢者を新型コロナウイルス感染から守る	陰性率	%	0.00	100.00	100.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

（3）　投入量（事業費）の推移

投入量		01年度（実績）	02年度（実績）	03年度（計画）			期間限定総投入量
事業費 財源内訳 国庫支出金	千円	0	290	900			0
事業費 財源内訳 県支出金	千円	0	0	0			0
事業費 財源内訳 地方債	千円	0	0	0			0
事業費 財源内訳 使用料・手数料	千円	0	0	0			0
事業費 財源内訳 その他	千円	0	0	0			0
事業費 財源内訳 一般財源	千円	0	31	1,746			0
事業費計（A）	千円	0	321	2,646			0
正規職員従事人数	人	0.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳

02年度事業費 実績（千円）				03年度事業費 予算（千円）			
10 需用費	31			11 役務費	26		
11 役務費	3			12 委託料	2,620		
12 委託料	287						
		合　計	321			合　計	2,646

事務事業名	疾病予防対策事業	事務事業№	10603001074	所属課	高齢福祉課

（4）この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？　開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

新型コロナウイルス感染症が拡大しているなか、高齢者や基礎疾患のある方を感染による重症化や死亡のリスクの軽減を図るため検査（令和２年度は抗原定量検査、令和３年度はＰＣＲ検査）が始まった。

（5）この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

検査利用者より安価で検査ができるという意見があった

【See】　2．評価の部　　＊原則は事前評価。

評価項目		
目的妥当性	①政策体系との整合性　（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	
	結びついている	高齢者に検査を提供することで、感染予防に結びつく。
	② 公共関与の妥当性　（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	
	妥当である	検査費用の一部を助成し、自己負担金を軽減できるのは、市以外できないため妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地　（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	
	向上余地がない	希望者全員に検査を実施できたため。
	④廃止・休止の成果への影響　（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	
	影響有	無症状で陽性の方がいるので、廃止や休止した場合、把握できないため影響あり。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性　（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む））	
	（他に手段がある場合）⇨	具体的な手段、事務事業名
	余地がない	類似事業がないので、統廃合できない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	
	削減余地がない	必要最低限の費用であり削減余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地　（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
	公正・公平である	６５歳以上の高齢者又は基礎疾患がある者で、検査を希望する者であり、公平である。

【Plan】　3．評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

（1）　１次評価者としての評価結果

①目的妥当性	■	適切	□	見直し余地あり
②有効性	■	適切	□	見直し余地あり
③効率性	■	適切	□	見直し余地あり
④公平性	■	適切	□	見直し余地あり

⇨

（2）　全体総括（振り返り、反省点）

申請、受付、検査、結果の一連の流れを医療機関へ委託し、検査費用と事務の軽減を図る。

（3）　今後の事業の方向性

□ 終了　■ 継続 → □ 改革改善を行う →（複数回答可）
□ 目的の再設定　□ 効率性の改善
□ 有効性の改善　□ 公平性の改善
□ 統廃合ができる　□ 連携ができる

□ 廃止　□ 休止 → ■ 現状維持

（4）改革・改善による期待成果
（終了・廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	╳
	低下		╳	╳

（5）　改革，改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

（6）事務事業優先度評価結果

成果優先度評価結果	

【Check】　4．確認及び改革改善に向けての指摘事項

（1）　課長評価

課長確認後の評価

A

A：継続（現状維持）　C：終了、廃止、休止
B：継続（改革改善を行う）　D：2次評価へ提出

（2）　部長確認及び評価　（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）

確認欄